

# 図説 日本史通覧

## Webサポートのご紹介

- 『図説 日本史通覧(2024年版)』のWebサポートでは、日本史の学習をサポートするさまざまなコンテンツをご用意しております。
- 詳しくは、**本チラシの内容**または**以下のQRコード**からご覧ください。



Webサポート  
体験版は  
こちら➡



URL : <https://www.teikokushoin.co.jp/high/work/detail/1039/>

### コンテンツ一覧

**おすすめコンテンツ** は、本チラシの内面でご紹介しております。

コンテンツ	形式
<b>おすすめコンテンツ①</b> 「東アジア全図」	
<b>おすすめコンテンツ②</b> 読み解き演習①～⑤ 準拠ワークシート 生徒用/教師用(解答・解説)	
<b>おすすめコンテンツ③</b> 『日本史重要史料』207点	
<b>おすすめコンテンツ④</b> [考察解答]・[解説]	

※内容は一部変更となる可能性がございます。



おすすめコンテンツ①

# 「東アジア全図」

- 紙面に掲載の東アジア全図、関連する世界地図、関連するテーマ地図の全31図をJPEGデータで収録しております。
- 授業でのプロジェクター表示やスライド作成などにご活用いただけます。



▲16世紀ごろの世界

▲明の海禁政策と琉球王国  
14世紀半ば～16世紀半ば

おすすめコンテンツ③

# 『日本史重要史料』

**113 『蘭学事始』**  
その時、翁申せしは、何とぞこのターヘル・アナトミアの一部、新たに翻訳せば、身体内外の分明を待、今日治癒の上の大益あるべし、いかにもして通訳の手をまからず、読み分けたまものなりと語りしに、その翌日、良沢翁が毛に集まり、前日のことを語り合ひ、先づ、かのターヘル・アナトミアの書にうち向ひしに、誠に堪らざるまで船の大海に乗り出せしが如く、茫洋として寄るべきかたなく、たゞあきれにあきれて居たるまでなり。**（蘭学事始）**

**注** ①翁：杉田玄白の自称。②ターヘル・アナトミア：解剖医学書『ドイツ人クルムス (Klumpke) の "Anatomie des Menschen" のオランダ語訳本『De anatomie des menschen』のこと。③その翌日：二十七年三月四日に大阪原の刑場で、玄白・前野良沢・中川淳庵らと死体解剖に立ち会った翌日。④良沢：中津藩医前野良沢。一八一五年、玄白が八十二歳のときに成立。「ターヘル・アナトミア」を翻訳した苦心談の回想録。

**『蘭代語訳』** その時私(杉田玄白)は、「この『ターヘル・アナトミア』の一部を翻訳すれば、身体内外の明瞭なることが明らかになり、今日治癒の上の大益あるべし、いかにもして通訳の手をまからず、読み分けたまものなりと語りしに、その翌日、良沢翁が毛に集まり、前日のことを語り合ひ、先づ、かのターヘル・アナトミアの書にうち向ひしに、誠に堪らざるまで船の大海に乗り出せしが如く、茫洋として寄るべきかたなく、たゞあきれにあきれて居たるまでなり。**（蘭学事始）**

▲『蘭学事始』

- 原文・注・現代語訳を含めて、全207点をWordデータで収録しております。
- 加工して授業プリントやテスト問題の作成にご活用いただけます。

**134 樺太・千島交換条約**  
第一款 大日本帝國陛下ハ其ノ後胤ニ至ル迄現今樺太島即薩哈鳴島ノ一部ヲ所屬スルノ權利及君主ニ屬スル一切ノ權利ヲ全露西羅國皇帝陛下ニ讓リ、而今而後樺太島ハ露國ノ西羅帝國ニ屬シ、ラベルグ海峡ヲ以テ兩國ノ境界トス  
第二款 全露西羅國皇帝陛下ハ、現今所屬「クリル」群島即チ第一「シムシム」島、第十八「ウルップ」島并チ十八島ノ權利及君主ニ屬スル一切ノ權利ヲ大日本帝國陛下ニ讓リ、而今而後「クリル」全島ハ日本帝國ニ屬シ、東亞細亞地方「ラバツカ」岬ト「シムシム」島間ナル海峡ヲ以テ兩國ノ境界トス、**（旧条約約書）**

**注** ①後胤：子孫。②而今而後：今後。③ラベルグ海峡：宗谷海峡。フランス人ラベルグが発見したことにちなんだ名称。④「クリル」群島：千島列島。  
**『旧条約約書』**：日米和親条約以後、一九二八(昭和三)年九月までに失効した条約を日本語と外国語で収録した条約集。

**『現代語訳』** 第一款 大日本帝國皇帝陛下はその子孫にいたるまで、現在の樺太島、つまりサハリン島の一部を所有する権利、および行政権など君主に属するすべての権利をすべてロシア帝國皇帝陛下に譲り、以後、樺太島はすべてロシア帝國に属し、ラベルグ海峡(宗谷海峡)を兩國の国境とする。  
第二款 全ロシア帝國皇帝陛下は、現在所有するクリル群島(千島列島)、すなわち第一のシムシム(占守)島から第十八のウルップ(獨逸)島までの合計一八島の権利および行政権など君主に属するすべての権利を大日本帝國皇帝陛下に譲り、以後クリル群島全島は日本帝國に属し、カムチャツカ地方ラバツカ岬(ラバツカ岬)とシムシム島との間の海峡を兩國の国境とする。

▲樺太・千島交換条約

おすすめコンテンツ②

# 読み解き演習ワークシート

- 巻頭特集の読み解き演習①～⑤に準拠したワークシートを、生徒用・教師用(解答・解説付)の2種類をご用意。授業ですぐにご活用いただけます。

このワークシートは、『図説 日本史演習』収録の「特集 読み解き演習」絵図資料に対応しています。両ページを参照しながら、次の問いに答ええてみましょう。

**資料1**

資料1の絵図には、4つの荘園の名前が記されている。絵図から見て、それぞれ別の荘園を指しているか、別荘を兼ねておられるか、お答えください。

**Q1** 資料1の絵図には、(ア)田庄(荘)と(イ)田庄(荘)と(ウ)田庄(荘)と(エ)田庄(荘)とが記されている。これら4つの田庄(荘)のうち、(ア)田庄(荘)と(イ)田庄(荘)は、(イ)田庄(荘)と(ウ)田庄(荘)とは、(ウ)田庄(荘)と(エ)田庄(荘)とは、それぞれ別の荘園を指しているか、別荘を兼ねておられるか、お答えください。

**Q2** 資料1の絵図には、(ア)田庄(荘)と(イ)田庄(荘)と(ウ)田庄(荘)と(エ)田庄(荘)とが記されている。これら4つの田庄(荘)のうち、(ア)田庄(荘)と(イ)田庄(荘)は、(イ)田庄(荘)と(ウ)田庄(荘)とは、(ウ)田庄(荘)と(エ)田庄(荘)とは、それぞれ別の荘園を指しているか、別荘を兼ねておられるか、お答えください。

**資料2**

資料2の絵図には、(ア)田庄(荘)と(イ)田庄(荘)と(ウ)田庄(荘)と(エ)田庄(荘)とが記されている。これら4つの田庄(荘)のうち、(ア)田庄(荘)と(イ)田庄(荘)は、(イ)田庄(荘)と(ウ)田庄(荘)とは、(ウ)田庄(荘)と(エ)田庄(荘)とは、それぞれ別の荘園を指しているか、別荘を兼ねておられるか、お答えください。

**Q3** 資料2の絵図には、(ア)田庄(荘)と(イ)田庄(荘)と(ウ)田庄(荘)と(エ)田庄(荘)とが記されている。これら4つの田庄(荘)のうち、(ア)田庄(荘)と(イ)田庄(荘)は、(イ)田庄(荘)と(ウ)田庄(荘)とは、(ウ)田庄(荘)と(エ)田庄(荘)とは、それぞれ別の荘園を指しているか、別荘を兼ねておられるか、お答えください。

▲読み解き演習② 絵図資料 準拠ワークシート 教師用

おすすめコンテンツ④

# 〔考察解答〕〔解説〕

122 ページ 建武の新政と南北朝の動乱

**【考察解答】**  
① 礼冠と直衣は国の統治者である王としてのイメージを、袈裟・密教法具は仏の世界の頂点に立つ意味を、また狛犬や御帳は神格をそれぞれ表し、俗権と聖権の融合を表している。  
② 幕府を倒し、院・摂政・関白などを廃止して天皇の直裁による政治をめざし、武士の所領安堵権も吸収しようとした。  
③ 後醍醐天皇は自らの皇子を各地に派遣して地域勢力の編成にあたらせたが、初期に有力武将を失い軍事的に劣勢になった。そのため、敵対する勢力と結んで勢力維持に努めたが、かえって内乱を長期化・複雑化させ、九州地方の一部と吉野地域での勢力しか保てなくなり北朝に下った。

**【解説】** 後醍醐天皇像は、国の統治者である王・仏・神を象徴しており、天皇が自らへの権力集中をはかったことを示している。実際、天皇は、鎌倉幕府を倒し、院・摂政・関白などを廃止して天皇の直接的裁可による政治を志向した。このこと自体、中世政治史においては「異形」であった。この像の制作主体は、天皇と密教修法で深いつながりのあった僧・文観と目されており、天皇自身の政治的志向を表すと同時に、天皇の死後、南朝のメンバーによって仏事を営む際の礼拝の対象になっていた可能性が高い。

▲建武の新政と南北朝の動乱

224 ページ 憲法制定と立憲国家体制

**【考察解答】**  
① 国民は臣民とされ、権利については、安寧秩序を妨げず、臣民としての義務にそむかない限りにおいて宗教の自由を有し(二十八条)、法律の範囲内において言論、出版、集会、結社などの自由を有した(二十九条)。  
② 急速な近代化を達成するためには、議会の権限が強いイギリス型ではなく、君主権・行政権の強いドイツ(プロイセン)憲法がふさわしかったから。  
③ ドイツ民法をもとにした新民法(明治民法)の特徴は、家を単位として戸主権が重視され、妻の権利は制限されていた。

**【解説】** 近代憲法をはじめとする法制度を整備することは、不平等条約改正に不可欠であった。大隈重信は、議会の権力が強い議院内閣制を原則とするイギリス型憲法を主張したが、岩倉具視や伊藤博文、井上毅は、君主権・行政権が強いドイツ型憲法がふさわしいと考えていた。憲法調査のためヨーロッパに渡った伊藤は、シュタイン(ウィーン大学教授)から「政党内閣制と君主専制をともに否定し、行政の自律性を確保することが国家建設の課題である」ことを学ぶ。帰国した伊藤は、貴族院創設のための華族令を公布。天皇親政をたてまえる太政官制を廃し内閣制度を足立させ、宮中(皇室)・府中(政府)を分離した。そのうえで憲法起草に着手した。

▲憲法制定と立憲国家体制

# 資料集Webサポートご利用方法

- ・資料集Webサポートのアクセスキーは、**年度ごとに変わります**。
- ・資料集Webサポートは**先生個人**でアクセスキーのご登録が必要です。
- ・2022年度用以降と2021年度用以前では、登録方法が異なります。

●お問い合わせはこちらから

URL : [https://www.teikokushoin.co.jp/enquete/saiyouhin\\_teacher/](https://www.teikokushoin.co.jp/enquete/saiyouhin_teacher/)

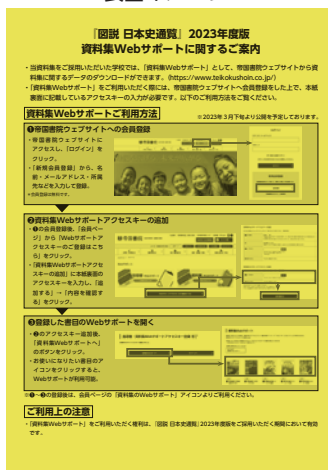


## ●アクセスキーのご確認方法

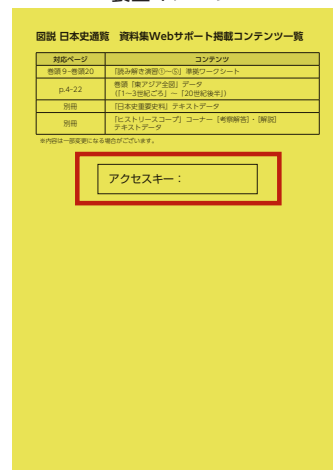
- ・指導用添本のみ、**表紙を開いたところにご案内** (表面)とWebサポート掲載コンテンツ一覧・**アクセスキー(裏面)**を記載した色紙が挟み込まれています。

※指導用添本は、生徒用供給本とは異なり、本の下側の切り口(“けた”)部分に赤線を引いております。

表面イメージ



裏面イメージ



## ●資料集Webサポートのご登録方法

### ① 帝国書院ウェブサイトへの会員登録

- ・帝国書院ウェブサイトへアクセスし、「**ログイン**」をクリック。
  - ・「**新規会員登録**」からお名前・メールアドレス・所属先などを入力して登録。
- ※会員登録は無料です。  
※既に会員の方はメールアドレス・パスワードを入力してログイン。



### ② 資料集Webサポートアクセスキーの追加

- ・①の会員登録後、「**会員ページ**」から「**Webサポートアクセスキーのご登録はこちら**」をクリック。
- ・「**資料集Webサポートアクセスキーの追加**」にアクセスキーを入力し、「**追加する**」⇒「**内容を確認する**」をクリック。



### ③ 登録した書目のWebサポートを開く

- ・②のアクセスキー追加後、「**資料集Webサポートへ**」のボタンをクリック。
  - ・お使いになりたい書目のアイコンをクリックすると、Webサポートが利用可能。
- ※次回以降は、**会員ページ**の「**資料集のWebサポート**」アイコンよりご利用ください。

